

● 表彰事業

第8回（平成 30 年度）ロボット大賞表彰式を挙行

- 大臣賞（経済産業大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞）、中小・ベンチャー企業賞（中小企業庁長官賞）、日本機械工業連合会会長賞、優秀賞、審査員特別賞を表彰 —



（全体記念写真）

日本機械工業連合会は、経済産業省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省との共催により、10月17日(水)、東京ビッグサイト・東6ホールにおいて、第8回(平成30年度)ロボット大賞表彰式を、受賞企業・団体関係者、審査委員など多数の出席を得て執り行った。

表彰式では、日本機械工業連合会 大宮会長(三菱重工業株式会社 取締役会長)の式辞(後述参照)のあと、表彰状及びトロフィー・楯の贈呈に移り、経済産業大臣賞が世耕経済産業大臣から授与され、以降、総務大臣賞が佐藤総務副大臣から、文部科学大臣賞が白須賀文部科学大臣政務官から、厚生労働大臣賞が新谷厚生労働大臣政務官から、農林水産大臣賞が濱村農林水産大臣政務官から、国土交通大臣賞が工藤国土交通大臣政務官から各々授与された。

中小・ベンチャー企業賞(中小企業庁長官賞)は中小企業庁 奈須野経営支援部長から授与され、日本機械工業連合会会長賞(2件)は大宮会長から授与された。

優秀賞(3件)及び審査員特別賞(1件)は川村ロボット大賞審査特別委員会委員長から授与された。

なお、受賞ロボット等については、後述の「第8回ロボット大賞受賞一覧」を参照。

引き続き、ファナック株式会社 稲葉代表取締役会長 兼 CEO から受賞者を代表しての謝辞、川村ロボット大賞審査特別委員会委員長(立命館大学教授)から各受賞ロボット等についての総評があり、表彰式を終了した。

その後、全体記念写真撮影、合同展示されている受賞ロボット等の視察が行われた。



(大宮会長による式辞)



(ファナック株式会社 世耕経済産業大臣による経済産業大臣賞表彰)



(がんこフードサービス株式会社 日機連会長賞表彰)



(株式会社 安川電機 日機連会長賞表彰)

大宮会長式辞

世耕経済産業大臣を初めとして、ご臨席の政府関係各位を前にして、誠に僭越ではありますが、「第8回ロボット大賞」表彰式に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本機械工業連合会は、経済産業省との共催により平成18年度より「ロボット大賞表彰事業」を実施して参りました。

2年前の第7回ロボット大賞からは、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が共催に加わりまして大きな発展を遂げることができました。日本機械工業連合会は経済産業省と共に本事業の幹事を務めさせていただいております。

振り返りますと、平成27年2月に政府から「ロボット新戦略」が発表され、その施策の一つとして「ロボット大賞の拡充」があげられております。これを受けて、私ども日本機械工業連合会におきましても、経済産業省を初めとする政府関係者のご指導を得て、本事業の拡充に向けた活動を続けてまいりました。

第8回ロボット大賞では、より多くのご応募をいただくために、募集部門の見直し、業界団体への協力依頼の拡充、大学・研究機関への応募の働きかけなどに努めてまいりました。こうしたなか、今回は、以前に比べてより広範な分野・部門から総数161件の応募を頂き、前回第7回の応募数151件を超えることができました。

応募案件については、審査特別委員会及びその下部組織であります審査・運営委員会において、書類審査、現地調査、プレゼン審査、最終審査と大変厳正な審査が重ねられてまいりました。審査員の方々には大変なご負担をかけることとなりましたが、広範多岐にわたる分野からの多数の応募案件から、最終的に13件の優れた受賞案件を決定することが出来ました。受賞案件は、多様な部門・分野にわたっており、ロボットのフィールドが広がったことを実感できるものとなったと考えております。

選定されたいずれの案件でも、研究開発・実用化・事業化、更には人材育成に関係された方々の優れた創意と、ご尽力が結実したものであり、受賞される皆様には心からの敬意を表したいと思います。

両委員会の委員の方々には、ご多忙中にもかかわらず非常に多くの時間を割いて頂き、精力的に審査に当たっていただきました。ノミネート委員会の委員の方々のご貢献を含めて、募集と審査に当られた全ての関係者のご尽力に対し、厚く感謝の意を表する次第であります。

また、ロボット大賞の広報などのために、ご協力いただいている団体が、今回60団体にまで拡大するなど、非常に多くのの方々からのご協力を得て、本日の表彰式を迎えることが出来ました。この場をお借りして改めて厚く御礼を申し上げます。

今後とも社会のあらゆる分野でロボットがより一層利活用され、人々の「生活の質」の向上に貢献できるよう、本事業の運営に鋭意努力してまいる所存ですので、今後とも変わらぬご協力を賜ることができれば幸いです。

最後に、我が国ロボット産業の更なる発展と普及を祈念し、本日ご列席の皆様方のますますのご発展をお祈り致しまして、私の式辞とさせていただきます。大変ありがとうございました。

「第8回ロボット大賞」受賞一覧

表彰位	授賞対象	
	名称	受賞者
経済産業大臣賞／ 総務大臣賞	ZDT(ゼロダウンタイム)	ファナック株式会社
文部科学大臣賞	耐切創性式の柔剛切替グリッパ機構 Omni-Gripper	国立大学法人 東北大学(田所・昆陽・多田隈研究室)
厚生労働大臣賞	ウエルウオーク WW-1000	トヨタ自動車株式会社／藤田医科大学(学校法人藤田学園)
農林水産大臣賞	完全自動飛行のドローンによる「空からの精密農業」	株式会社 ナイルワークス
国土交通大臣賞	ドローンを用いた火山噴火時の土石流予測システム	国立大学法人 東北大学／国際航業株式会社／株式会社 イームズラボ／学校法人 工学院大学
中小・ベンチャー企業賞 (中小企業庁長官賞)	ホタテ貝柱自動生剥きロボット「オートシェラー」を中核とする水産加工システム	株式会社 ニッコー
日本機械工業連合会会長賞	自動搬送ロボット導入による料亭の接客サービスの効率化	がんこフードサービス株式会社
日本機械工業連合会会長賞	小型ロボット MotoMINI	株式会社 安川電機
優秀賞(サービス分野)	パワードウェア ATOUN MODEL Y	株式会社 ATOUN
優秀賞(インフラ・災害対応・建設分野)	コンクリート床仕上げロボット	大成建設株式会社／国立大学法人 筑波大学
優秀賞(ビジネス・社会実装部門)	シミズ スマート サイト	清水建設株式会社
審査員特別賞	自動化基礎講座およびメカトロニクス技術者試験の推進	特定非営利活動法人 自動化推進協会

[業務部]